

第23回  
外国人による  
日本語スピーチコンテスト

2014年2月1日（土）午後1：00～4：30

ところ／県民文化センター小ホール

主催／公益財団法人茨城県国際交流協会

共催／茨城県

\*茨城県知事賞

ネランダ アザニア アユ (インドネシア出身)

「日本の気づかれていない美しさ」

皆さん、こんにちは。

アニメ、マンガ、茶道、生け花など、日本の文化は海外でも良く知られています。しかし、日本に留学すると、いろいろな経験や、様々な人と出会う中で、あまり気づかれていない日本の美しさを発見することができました。

私は2年前、はじめて日本に来ました。1か月くらい滞在して帰国する時、お土産に日本のスイーツや、せんべいなどを買いました。その時、日本の商品というのは細かいところまできちんと、美しく見えるように心が配られている、ということに気が付きました。例えば、まんじゅうは、一個ずつ和紙で包んで、箱に並べて、それからその箱を包装紙に包んで、さらに紙袋に入れます。包装紙の種類や模様もいろいろあって、どれもかわいいし、美味しそうに見えるし、お土産を選ぶときにすごく困ってしまいました。インドネシアでは、もっと簡単です。

去年の4月に日本に留学して、貴重な経験をしました。夏休みに茨城大学の学生が、私の母校で、茨城大学フェアを行うことになりました。その準備の手伝いをした時、日本人の学生たちと一緒に、和紙の折り方や風呂敷の包み方を学びました。日本人は誰かに贈り物を渡すとき、「はだか」のまま渡すのではなく、和紙を何枚も重ねたり、風呂敷などに包んだりする文化があることを教えてもらいました。ただ、適当に包んで相手に渡すのではなく、基本の折り方を守って、きれいに包んでから相手に渡します。折り方は様々で、贈り物に合わせて包むことができます。そして、折り方にも、色々なルールがあることも学びました。どれが手前の方か、どれが柄のポイントなのか、はっきり分らないと、適切で、きれいな包み方にはなりません。それぞれのステップが本来の意味を持っているため、適当に包むと、失礼になったり、礼儀正しくない、と思われてしまうこともあります。「これは素晴らしい日本文化だ！」と気が付きました。

日本の包む文化は贈り物だけではありません。日本人の表現は、言語表現も、非言語表現も、やわらかく美しく包まれている感じがします。もっと親しくなりたいたいと思っても、何か見えない空気に包まれている感じがします。「討論はしない」「本音を出さない」というのは日本人の独特な性格だといわれています。相手の気持ちをよく考えて、傷つかないように表現します。不愉快な気持ちは笑顔で包み、親しくなっても礼儀正しく行動する姿も、いいなあと思います。

包む文化は、やわらかく、優しく、美しいと思います。しかし、中身も見せてほしいです。友達なら、たまには討論したり、本音で語り合ったりすることも大事ではないでしょうか。友達になって、本当に良かったのか、本当に心から笑ってくれているのか、本当にそこに行っても大丈夫なのか…。つい、いろいろ気を遣って疲れてしまいます。

中身が見えたら、きつともっと早く、もっと親しく心から語り合える友達ができます。皆さん、包む文化は美しいです。しかし、包みを開けば、中身の本物の美しさをもっと伝わると思います。

ありがとうございました。